山口大学体育会ワンダーフォーゲル部ＯＢ会

ＯＢ通信

平成９年７月　ＮＯ．１

発行：〒753　山口市吉田1677-1 山口大学体育会ワンダーフォーゲル部内

山口大学体育会ワンダーフォーゲル部ＯＢ会事務局

梅雨明けが待たれます今日この頃、ＯＢの方々におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、ＯＢ会は平成９年度がスタートし、昨年度ＯＢ会事務局代行を務められました宮村賢氏の後任といたしまして、今年度は私、中野毅（人文学部　前主将）がＯＢ会事務局の仕事を担当させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

なお、ＯＢ会事務局の住所は上記のとうりといたします。電話での連絡につきましては、

060-161-7244 中野　までお願いいたします。下宿先の電話をＰＨＳとしていますので、ＰＨＳの電話番号を表記しております。電話料金は普通の電話とほとんど変わりませんので、いつでも遠慮なくおかけください。

Ⅰ・ＯＢ会の活動について

(1)ＯＢ総会

近年、ＯＢ総会へ出席してくださる方々は減少傾向にあり、昨年度の参加者も数名で、総会においては活発な意見は出していただいてはいるもの

の、ＯＢ会の活動の中心であるこの総会としては、十分な機能を果たしているとは言えない状況にあります。年に一度のＯＢの方々の交流の場とも考えられますので、今後の活性化を図っていくためにも、より多くの皆様のご出席をお願いいたします。

なお、今年度の開催時期は１月上旬を予定しております。次回のＯＢ通信で、はっきりとした日程等をお知らせいたします。

⑵ＯＢ会費

今年度の会費の納入をお願いいたします。なお、１年分納入と、５年分一括納入の２種類ありますので、どちらかでお支払ください。

１年分会費……２０００円

５年分会費一括納入‥１００００円

また納入先については、

郵便局：０１５３０－０－１６０５０　山口大学ワンダーフォーゲル部

銀行：第一勧業銀行　山口支店　普通　１４８２０１９

山口大学体育会ワンダーフォーゲル部

郵便局の振込用紙を同封しましたのでご利用ください。

※振込用紙が同封されていない方は、５年分一括納入をしていますので、今年度の会費の納入の必要はありません。

(3)平成８年度　会計報告

《収入》	会費	１０８，０００円
	前年度繰越金	３３１，２２７円
		４３９，２２７円

《支出》	ＯＢ通信、ＯＢ名簿作成費	２２，４９６円
	郵便切手代	５８，０８０円
		８０，５７６円

差引残高　３５８，６５１円

(4)ＯＢ通信

次回のＯＢ通信は、夏合宿の報告を中心に、１２月頃発行したいと思います。

Ⅱ・新ＯＢ紹介

この度、新たにＯＢとなられた方々を紹介いたします。

児玉　典央（山口市）	新原　洋介（山口市）
原田　直樹（山口市）	藤村　友香（宇部市）
前田　善央（阿知須町）	宮村　賢　（山口市）
山崎　徹　（山口市）	（敬称略）

以上７名の皆様です。皆様のますますのご活躍をお祈りします。

Ⅲ・ＯＢ名簿

今年度のＯＢ名簿を作成しましたので同封いたします。付録として現役部員の名簿も付けましたのであわせてご利用ください。なお、記載に誤りなどがありましたら事務局までご連絡ください。

ＯＢ名簿をご覧になっておわかりいただけるとは思いますが、ＯＢ名簿には空欄が多く、これらの方々にはＯＢ通信を遅れない状況にあります。同期の方や、同地域の方で空欄となっている方の住所、電話番号などご存じの方がおられましたら、ご一報くださいますようお願いいたします。

Ⅳ・新執行部紹介

今年度の執行部員の役員、係を紹介します。

主　将：國清　純一（農Ⅲ）　　装　備：渡部　玄　（理Ⅲ）

副　将：内田　幸子（教Ⅲ）　　山行技術：渡部　玄　（理Ⅲ）

主　務：桑原　孝司（人Ⅲ）　　気　象：高石　豊寿（理Ⅲ）

渉　外：桑原　孝司（人Ⅲ）　　衛　生：藤原　一章（教Ⅲ）

会　計：岡崎　亨治（農Ⅲ）　　ｴｯｾﾝ　：内田　幸子（教Ⅲ）

♂ﾄﾚｰﾅｰ：藤原　一章（教Ⅲ）　　記録図書：高石　豊寿（理Ⅲ）

♀ﾄﾚｰﾅｰ：野口　千恵（人Ⅲ）

以上８名です。

なお、平成９年度安全対策委員は、以下の５名です。

國清　純一（農Ⅲ・委員長）　　田中　宏行（経Ⅳ）

岡崎　亨治（農Ⅲ）　　中野　毅　（人Ⅳ）

渡部　玄　（理Ⅲ）

Ｖ・現役部員活動報告

(1)平成８年度春合宿無事終了

昨年度第３６期執行部の春合宿は、「幅広い技術の修得」と「早春の自然のいろんな形での体感」を目的として行ないました。

サバイバルＰは鹿児島県トカラ列島の平島において６泊７日で全日程無事終了しました。今回のサバイバルＰは釣果はまずまずのようでしたが、１日１．５合の米のみでは毎日空腹だったようで、Ｐ－ｍｅｎは普段の生活に当たり前のようにある食べ物のありがたみを肌で感じていたようです。

サイクリングＰは沖縄本島において予定通り６泊７日で全コース消化しました。Ｐ－ｍｅｎの１人はケガのため合宿に行くことができませんでしたが、天候に恵まれ“沖縄の風”になれたようです。

西表島Ｐは計７泊８日（１沈）で全コース無事終了しました。あいにくあまり天候には恵まれず、晴天になったのは７日目だけでした。また、沢登みたいなことをしたりヒルに血を吸われたり豪雨に見舞われて全身びしょ濡れになったりと、いろいろと大変でしたが、西表島の雄大な自然を肌で感じることができ、またいろんな珍しい生物に出会うことができました。特に、沈をした日に、ジャングルの中で３０分間だけ活動をするホタルを見ることができ、Ｐ－ｍｅｎ一同自然のすばらしさを感じることができました。ジャングルの道はかなり険しく、いろいろと大変でしたが、大変有意義な合宿だったと思います。

霧島Ｐは５泊６日（計２沈）で全コース無事終了しました。あいにく天候に恵まれず２沈しましたが、無事全行程をこなすことができ、Ｐ－ｍｅｎにとってはいい経験になったのではないでしょうか。

第３６期主将　中野　敏

⑵第３６期執行部を終えて

１年間大きな事故もなく無事終えることができました。夏合宿、春合宿も、いろいろとごたごたはありましたが、なんとか無事に事故もなく行なうことができました。私たちは、この１年間の部の運営を通じて、多くのことを学ぶことができました。本当にこの１年間いろいろなことがありましたが、助言を与えてくださった先輩方、ついてきてくれた後輩たちに大変感謝しております。

特に、ＯＢの井上義章氏（３４期）、三浦健一郎氏（３４期）におかれましては、ご多忙にもかかわらず、私たちのお願いを快く引き受けてくださり、雪上訓練に参加して指導していただきました。おかげさまで、雪にも恵まれ、３年ぶりに雪上訓練を行なうことができ、次につながっていく雪上訓練になったと思います。この場を借りて、お礼申し上げます。

第３６期主将　中野　叡

⑶第３７期執行部近況報告

我々の執行部による本年度のワンダーフォーゲル部は、慌ただしく始まりました。今年度は、県内合同ワンデリングの主催であり、此処最近はワンゲル部員だけを連れていっている新歓登山を公開制にしたためです。大学の始まる前から、雨の中のプレ県、すばらしい快晴での東鳳翩山調査ワン。大学が始まってからは、入学式でのアピール、連日なる茶話会など、誰もが、４月は体が持たないのではないかと思いながら始めましたが無事終わり、オッチェン３名、メッチェン２名が入部し、現役部員（１～３年生）２１名（病による休部１名）となりました。

５月に入っての最初の行事は、Ｃａｍｐ－２講習会として、１年生は、装備を購入しました。もちろん、ユニフォームは、えんじ色で、あのニッ

カズボンも健在です。また、今年の１年生は、昨年まで用いていたザックが製造中止になったというので、カタログの至る所にでているようなかなり高価なザックを本人たちの希望で購入しました。私も、このザックがうらやましい限りです。さらに変化として、今までのポリタンのメーカーが、倒産したとのことでｅｖｅｒｎｅｗというメーカーのポリタンになりました。

次なる行事は、待ちに待った県内合同ワンデリングです。今年は、徳地の日暮ヶ岳で行われました。部員全員が参加出来、他大学の方々との交流を深めることが出来ました。天気が良く、昨年は雨天で中止であったファイアーも出来、盛大な内に終わりました。

県合の後は、部員が少ないため、当初予定していた夏合宿のパーティーが４Ｐａｒｔｙから３Ｐａｒｔｙに減るおそれがあったため、より多くの新入部員を獲得しようと努力しました。しかし、ここ最近の、部員の多い年、少ない年の周期が関係したのか、はたまた体育会離れの流れに我々ワンゲルも無関係ではなかったのかはわかりませんが、結局、オッチェン１人増えただけでした。しかも、６月には２年生の１人がやめたことにより合計２０名（１～３年生）、夏合宿のパーティーも３Ｐａｒｔｙになりました。

困話休題（これはさておき）、５月１７日に行われた新歓コンパは、毎年の通り、１年生は潰れてくれました。最近問題になっている大学生の一気のみによる死亡のような事態には、万全を期して望んだためなりませんでした。改めてワンダーフォーゲル部の伝統的なものである何をするにも考えて考え抜いて行う、という姿勢のすばらしさを知るに至りました。

その次の週、５月２４，２５日で山技実習にいって来ました。もちろん、おなじみの東鳳翻山です。カスリは、遅い者もいましたが、２時間パッキ

ングなどについては荷物が少ないものの比較的よくやってくれました。実習の行程は、１日目に東鳳翻山の肩まで行きそこで幕営して１泊、次の日は、二ツ堂へ降りる分岐からショウゲン山へピストンして下山。（４月の）調査ワンほど景色はよく見えませんでしたが、この２日間も良い天気でした。

このころになると、先には書きませんでしたが、県合の次の週から始めたリーダー養成も２回目を数え、６月終わりの現時点で、休部中のオッチェン１人、けがで、２回目にいっていなかったオッチェン１人をのぞく５人がリーダーの資格を得ました。

さて、６月に行われた夏合宿に向けての錬成ですが、５月に入った新入部員の山靴がこなかったこと、新歓ＣＭＣが例年と異なり、１週ずれたことにより、６月７，８日、１４，１５日、２１，２２日の三回に分けて行われました。この比較的余裕のある日程が夏合宿仮承認部会を延期させたため、例年よりも１週間少ない予定でＰａｒｔｙ行動をすることとなりました。しかしながら、悪いことは続くもので、いまこうして原稿を書いている６月２８，２９日に行う予定であった２次錬成は台風が山口県近くを通ったため、７月に延期、帰省期間が例年より少なくなることが、現時点で決定しています。

といった具合に我が執行部による今年のワンゲルは、一難去ってまた一難といった調子で荒波を部員全員で乗り越えています。

最後に、今年は、夏合宿で、北アルプスの表銀座～笠ヶ岳、裏銀座～表銀座、そして、東北の飯豊連邦の３Ｐａｒｔｙでいきます。もし、お逢いする機会があれば、声をかけてください。

第３７期主将　國清順一

⑷新ワンダラー誕生

今年は６名の新入生が入部しました。ちょっと少ないですが元気なものばかりです。今後の活躍が期待されます。

今年度の部員数は以下の通りです。

	１　年	２　年	３　年	４　年	計
♂	4	6	6	3	１９
♀	2	1	2	0	5
計	6	7	8	3	２４

⑸第３２回県内合同ワンデリング

去る、５月３・４・５日の連休に徳地町の日暮ヶ岳において第３３回県内合同ワンデリングが山口地区の主管により行なわれました。各大学のワンゲル部員の激減により参加者も年々減少してきており、費用や形態の面でかなり運営が難しくなってきています。また、近年使っているキャンプ場は、連休のせいもあって多くの一般客がおり、なんらかの迷惑をかける状態が続いています。

とはいえ、参加者は人数が少ない分、参加者全員と交流を深ることができ、大いに楽しむことができているようです。来年度は、宇部地区主管で行なわれる予定ですが、今後、県合の形態も変わっていくのではないでしょうか。

(6)平成９年度夏合宿

今年は、北アルプスと飯豊連邦で行なわれます。３パーティー編成です。７月２３日（水）の早朝６：０９湯田温泉駅を出発します。集中は、８月４～５日にかけて長野県黒沢キャンプ場で行なわれる予定です。

岡崎パーティー：濁沢－野口五郎岳－水晶岳－鷲羽岳－三俣蓮華岳－双六岳
－槍ヶ岳－大天井岳－燕岳－中房温泉（７泊８日）

桑原パーティー：大石ダム－杁差岳－北股岳－烏帽子岳－大日岳
－飯豊本山－三国岳－川入（５泊６日）

野口パーティー：中房温泉－燕岳－大天井岳－槍ヶ岳－双六小屋
－笠ヶ岳－新穂高温泉（６泊７日）

なお、打ち上げコンパは９／５に太陽堂において行なわれる予定です。

◎編集後記

通算何号目のＯＢ通信になるのか分かりませんが、なんとか平成９年度夏のＯＢ通信が出来上がりましたので、お届けいたします。今回のＯＢ通信は、現役部員の活動がＯＢの皆様方に少しでも伝わるように、いつもより現役部員の近況報告に多くの紙面を割いたつもりです。

このＯＢ通信がＯＢ会の活性化やＯＢと現役部員の交流のために少しでも役に立てばと考えておりますので、感想、随想、意見、情報、メッセージ、現役部員への質問など、どんな些細なことでもかまいませんので、こちらのほうへお知らせいただければ幸いです。次回のＯＢ通信に載せることができればいいなと考えております。

これから日に日に暑さもましてまいりますが、どうか皆様にはお体にお気をつけてお過ごし下さい。

平成９年７月　　中野　毅